平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業 （市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

事業の目的

心身障害者に対し医療費の一部を助成し、もって心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
　宇陀市では所得制限を撤廃し、県制度での助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第1節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度 事業の概要

＜助成内容＞後期高齢者を除く、身体障害者手帳1、2級又は療育手帳A1，A2所持者に、保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円（月2週間以上の入院の場合は、1，000円）を控除した額を助成する。ただし、対象者が中学卒業までの場合は、入院医療費の自己負担額（食事負担額を除く）を全額助成する。
＜助成方法＞助成対象者が県内医療機関で受診した場合は、その診療情報が国保連合会を通じ市町村に提供され、その情報をもとに対象者が事前に指定してある口座に助成費を振り込む。ただし、県外医療機関での受診の場合や自動償還を取り扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書をもって申請により助成金を支払う。

事業の成果

区　　分	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
受給者数　（年度末現在）	29人	28人	22人
助成件数	520件	402件	408件
助成額	10,149,206円	5,368,702円	3,575,461円

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,101
一般財源		2,981
H24予算額	A	4,082
H23当初予算額	B	5,450
H23現計予算額		5,450
増減額	A－B	▲ 1,368

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	5,369	3,576
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	6,169	4,376
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	28 単位 人	22 単位 人
単位当たりコスト　（円）	220,321	198,909

特定財源の状況

福祉医療費助成制度高額療養費収入（諸収入）
　1，101千円

事業の目標

障害があることで医療費がかさみ、就労が困難な状況にある重度な障害者に対し医療費の一部を助成することで安心して医療が受けられるようにすることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
（4）心身障害者医療、重度心身障害者老人等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」開設事業

所管課	介護福祉課（福祉課）	（健康福祉部）

事業の目的	発達障害児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第4節　障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

H24年度事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者の充実と関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。 臨時職員賃金　1,897千円 講師謝礼　200千円 消耗品費　100千円 食糧費　24千円 傷害保険料　16千円 合計　2,237千円
事業の成果	平成22年度実績 平成22年11月より開設。 家庭児童相談員1名、臨時保育士4名、指導員1名で、毎週木曜日朝10時より「ぬくもりの森」で15回実施。5組の親子が参加。 臨時職員賃金　674千円 講師謝礼　30千円 消耗品費　109千円 食糧費　4千円 合計　817千円

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,237
一般財源		
H24予算額	A	2,237
H23当初予算額	B	2,435
H23現計予算額		2,435
増減額	A－B	▲ 198

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	817			2,435		
従事職員数【人工】	0.30			0.30		
人件費（人工×8,000千円）	2,400			2,400		
総事業費：人件費含む（千円）	3,217			4,835		
活動指標名	達成率（%）					
活動指標の算式	参加親子数/目標					
活動指標の実績	50.0	単位	%	100	単位	%
単位当たりコスト　（円）	64,340			48,350		

特定財源の状況

参加負担金（おやつ代）　24千円
地域づくり推進基金繰入金　2,213千円

事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流をはかる。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト (9)“こあら教室”の開設

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	障害児地域参加交流促進事業（にこにこの部屋開設）

所管課	介護福祉課（福祉課）	（健康福祉部）

事業の目的

市外の特別支援学校等に通学する児童・生徒に対し、地域の人々との交流や行事等への参加をする機会をつくり、地域住民との交流を通じて障害児（者）への理解を図る。
また、市内の特別支援学級に通学する児童・生徒との交流の機会を設け、集団での生活指導を行いながら、地域における障害児の居場所をつくる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市障害児地域参加交流促進事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第4節　障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
報償費　30千円
需用費　200千円
委託料　2,346千円
合計　2,576千円

事業の成果

家に引きこもりがちな障害児の居場所づくりができる。
家族の介護負担の軽減につながると共に、障害児が地域の活動に参加することにより、地域とのつながりができ、地域全体のでの見守りにつながる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,576
一般財源		
H24予算額	A	2,576
H23当初予算額	B	4,472
H23現計予算額		4,472
増減額	A－B	▲ 1,896

事業のコスト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	364			1,799		
従事職員数【人工】	0.20			0.30		
人件費（人工×8,000千円）	1,600			2,400		
総事業費：人件費含む（千円）	1,964			4,199		
活動指標名	参加者数					
活動指標の算式						
活動指標の実績	21.0	単位	人	27	単位	人
単位当たりコスト　（円）	93,524			155,519		

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金　2,576千円

事業の目標

小・中学生等との交流並びに地域参加を図ることにより、特別支援学校等に通学する障害児が地元と関わり、地元と密着することにより、地域全体で見守り、障害児が安心して生活が送れるようにする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
（10）“にこにこの部屋”の開設

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業 （市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費

事業の目的

心身障害者医療費助成事業の対象となる障害を持つ者（身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者）で、後期高齢者医療制度加入者に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
　宇陀市では所得制限を撤廃し、県制度での助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱
総合計画	基本計画　第2章　第1節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度 事業の概要

＜助成内容＞
保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円（月2週間以上の入院の場合は、1，000円）を控除した額を助成する。

＜助成方法＞
助成対象者の受診情報が後期高齢者医療広域連合から市町村に提供され、その情報をもとに対象者が事前に指定してある口座に助成費を振り込む。

事業の成果

区　　分	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
受給者数 （年度末現在）	22人	20人	19人
助成件数	519件	418件	410件
助成額	1,969,349円	2,709,224円	2,209,000円

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,280
H24予算額	A	2,280
H23当初予算額	B	2,949
H23現計予算額		2,949
増減額	A－B	▲ 669

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,710	2,209
従事職員数【人工】	0.04	0.04
人件費（人工×8,000千円）	320	320
総事業費：人件費含む（千円）	3,030	2,529
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	20 単位 人	19 単位 人
単位当たりコスト　（円）	151,500	133,105

特定財源の状況

事業の目標

重度心身障害老人等に対して、その医療費の一部を助成をすることで、経済的負担を軽減するとともに、生活の安定に寄与することを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
（4）心身障害者医療、重度心身障害者老人等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊モデル事業

所管課	介護福祉課(長寿介護課)
事業の目的	見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費

根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領　高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領
総合計画	第2章第3節 (2)高齢者福祉サービスの充実

H24年度事業の概要	平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等おしらせ隊は市が、高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、24年度は実施予定とする。特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行っていくため、市社会福祉協議会委託料の費用を計上した。
事業の成果	高齢者等おしらせ隊と高齢者等サポート隊の2つを合わせて高齢者等見守り隊を呼んでいる。高齢者等おしらせ隊は、配達関連事業所及びライフライン検針業務関連事業所に協力を求め、市と事業所が協定を締結。11/30に協定書締結式を行う予定とし、12月から業務中に高齢者等の異変を察知した場合、通報・連絡体制や連携を取ることで官民協同のもと高齢者等の孤独死の防止を行う。(2/13現在:4件) 高齢者等サポート隊は、4地域の関係団体に説明会を開催し、事業の目的やモデル地域の決定を行っているが、既存関係団体への説明段階で、進捗が遅れている。23年度内に4地域のモデル地域を指定し、個別説明会や養成講座の開催を目指している。

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		963
H24予算額	A	963
H23当初予算額	B	530
H23現計予算額		530
増減額	A－B	433

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		300
従事職員数【人工】		0.30
人件費(人工×8,000千円)		2,400
総事業費:人件費含む(千円)		2,700
活動指標名	高齢者等おしらせ隊協力事業所協定数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	17 単位 事業
単位当たりコスト (円)		158,824

特定財源の状況

事業の目標	持続可能な事業として、また高齢者等の見守り活動を地域住民、行政、民間事業所の官民協働で実施していく予定だが、サポート隊活動の具体的内容や範囲、地域への醸成が今後課題となる。趣旨は理解していただいているものの、必要性に迫られていない地域の醸成をどう図るか、どのようにアピールしていくかが今後の課題・目指すべき事業目標と言える。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安心］ (5)“高齢者等サポート隊”モデル 事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市人権施策基本計画

所管課	人権推進課	(市民環境部)

事業の目的	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」及び総合計画に基づき、人権が尊重される社会の実現と、健全で多彩な交流促進に向け、人権問題に関する市民の意識を把握し、地域の実情を踏まえた人権教育及び人権啓発に関する施策を策定する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	7	人権行政推進費
細目	1	人権行政推進費

根拠条例等	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」等
総合計画	第4章第1節　誰もが尊重される共生のまちづくり

H24年度事業の概要	宇陀市の現状、市民の意向などを適切に踏まえて、今後の中長期的な人権施策推進の指針となる「宇陀市人権施策基本計画」策定に必要な作業を行う。 平成23年度:市民意識調査の実施、集計、分析　1,754千円 平成24年度:計画素案の作成、審議会への諮問、基本計画策定及び計画書の作成　2,867千円
事業の成果	部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃及び人権を侵害する行為の防止と市民の人権意識の高揚に努め、人権擁護等の施策を総合的かつ計画的に推進することができる。 また、調査結果を基に、職員研修や各種団体の研修に活かす。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		2,866
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	2,867
H23当初予算額	B	1,800
H23現計予算額		1,800
増減額	A－B	1,067

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		1,754
従事職員数【人工】		0.20
人件費(人工×8,000千円)		1,600
総事業費:人件費含む(千円)		3,354
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	事業費/全体事業費	
活動指標の実績	単位	38.0 単位 %
単位当たりコスト　(円)		88,263

特定財源の状況	
合併補助金	2,866千円

事業の目標	行政が基本的人権の尊重という目標をしっかり見据えた啓発を継続して、共生のまちづくりを目指す。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 6. 改革改善プロジェクト (4) 人権を尊重した宇陀市づくり

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的	子どもを養育している者に対し当該子どもに係る医療費の一部を助成し、もって子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。 0歳～小学校入学前の乳幼児が対象であり、宇陀市では扶養義務者の所得制限を撤廃して実施している。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞　保険医療費の自己負担額から通院の場合は1医療レセプトあたり月500円を控除した額を、入院の場合は自己負担金全額（食事療養費の自己負担額を除く）を助成する。

＜助成方法＞　原則として国保連合会からの医療情報に基づき事前に登録されている口座へ振り込むが、県外で受診した場合や自動償還を扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書を持って助成金の申請が必要となる。

事業の成果

区　　分	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
受給者数　（年度末現在）	36人	32人	32人
助成件数	338件	316件	320件
助成額	1,095,221円	855,690円	853,642円

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,092
H24予算額	A	1,092
H23当初予算額	B	1,239
H23現計予算額		1,239
増減額	A－B	▲ 147

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	856	853
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	1,256	1,253
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	32 単位 人	32 単位 人
単位当たりコスト　（円）	39,250	39,156

特定財源の状況

事業の目標

①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。
②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。
③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(3) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的	子どもを養育している者に対し当該子どもに係る医療費の一部を助成し、もって子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜通院の場合＞
・対象者　　宇陀市に住所を有する0歳から小学校就学前の子ども
・助成内容　保険医療費の自己負担相当額から1医療レセプト当たり月500円を控除した額を助成
＜入院の場合＞
・対象者　　宇陀市内に住所を有する0歳から中学校卒業時までの子ども
・助成内容　保険医療費の自己負担相当額を全額助成
※食事療養費の自己負担額を除く。

事業の成果

区分		21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
受給者数（年度末現在）	0歳～小学入学前	1,379人	1,276人	1,199人
	小学生	―	1,570人	1,500人
	中学生	―	―	800人
助成件数（レセプト単位での件数）		12,508件	13,004件	12,980件
決算又は決算見込額 扶助費	県単事業分	20,995,695円	22,261,738円	21,547,206円
	市単事業分	1,095,221円	1,350,082円	2,806,794円
	小　計	22,090,916円	23,611,820円	24,354,000円
	需用費（支払通知書等印刷代他）	139,702円	100,695円	172,000円
	役務費（自己負担金集計手数料、振込案内通知他）	854,615円	1,009,798円	930,000円
	委託料（システム改修電算委託料）	0円	1,785,000円	0円
	貸付金	138,600円	0円	0円
	償還金（県補助金精算による返還金）	318,714円	738,255円	0円
	合　計	23,542,547円	27,245,568円	25,456,000円

※平成22年10月診療分より小学校卒業時までの子どもの入院医療費自己負担額全額助成。
平成23年4月診療分より中学校卒業時までの子どもの入院医療費自己負担額全額助成。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		12,137
市　債		
その他		2,233
一般財源		17,292
H24予算額	A	31,662
H23当初予算額	B	31,242
H23現計予算額		31,242
増減額	A－B	420

事業のコスト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	27,246			25,456		
従事職員数【人工】	1.30			1.30		
人件費（人工×8,000千円）	10,400			10,400		
総事業費：人件費含む（千円）	37,646			35,856		
活動指標名	受給者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	2,846	単位	人	3,499	単位	人
単位当たりコスト　（円）	13,228			10,247		

特定財源の状況

奈良県乳幼児医療助成事業補助金
11，924千円

奈良県福祉医療費事務費補助金
213千円

福祉医療費助成制度高額療養費収入等（諸収入）
2，233千円

事業の目標

①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。
②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。
③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
（2）子ども達の中学卒業までの入院医療費を無料化

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）

所管課	子ども支援課（福祉課）	（健康福祉部）

事業の目的

すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供すると共に、支援の必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	次世代育成支援対策交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
- 4500円×190人＝855,000円　助産師会へ委託
- 対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。
- 訪問により支援が必要な家庭に対しては、個別ケース毎に会議を行い、その結果をふまえて支援の内容を検討する。

事業の成果

平成21年度決算　115件　518千円
平成22年度決算　162件　733千円
平成23年度予算　190件　855千円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		634
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		221
H24予算額	A	855
H23当初予算額	B	855
H23現計予算額		855
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	733	855
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,533	1,655
活動指標名	達成率（%）	
活動指標の算式	訪問件数/出生者数	
活動指標の実績	98.2 単位 %	100 単位 %
単位当たりコスト　（円）	15,611	16,550

特定財源の状況

次世代育成支援対策交付金　634千円

事業の目標

乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児によるストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(5) こんにちは赤ちゃん事業
（乳児家庭全戸訪問事業）

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児用補助装置貸与事業

所管課	子ども支援課(福祉課) (健康福祉部)
事業の目的	新生児から6ヶ月未満の乳児を保護養育している人を対象に、チャイルドシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要	平成24年度予算概要 ・8600円×45件×1．05＝406350円 ・ダスキンレントオール奈良ステーションと委託契約を結び、申請者には直接事業者からベビーシートが貸与される。
事業の成果	平成21年度決算　47件　427千円 平成22年度決算　44件　398千円 平成23年度予算　40件　362千円

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		407
H24予算額	A	407
H23当初予算額	B	362
H23現計予算額		362
増減額	A－B	45

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	398			362		
従事職員数【人工】	0.08			0.08		
人件費(人工×8,000千円)	640			640		
総事業費:人件費含む(千円)	1,038			1,002		
活動指標名	貸出件数					
活動指標の算式						
活動指標の実績	44.0	単位	件	40	単位	件
単位当たりコスト (円)	23,591			25,050		

特定財源の状況

事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用が義務づけられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト (7) ベビーシートレンタル事業

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市児童養護施設支援事業

所管課	子ども支援課（福祉課）（健康福祉部）
事業の目的	保護者が病気や虐待など特別な事情で児童を入所させて養護し、併せて退所した者に対する相談や自立のための援助に努めている児童養護施設の運営を支援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市児童養護施設支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第2章第6節　心豊かな地域福祉の充実

H24年度事業の概要	平成24年度予算概要 賃金　3,984000円 社会保険料　209,059円 年金　360,403円 雇用保険　39，672円 通勤手当　386,400円 合計　4,979,534円
事業の成果	平成23年度より、児童養護施設「大和育成園」において、施設を適切に運営するため新たな職員を雇用するための経費を補助している。 現状では、臨床心理士1名、指導員1名を採用し、子どもの指導や相談にあたっている･。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		4,980
一般財源		
H24予算額	A	4,980
H23当初予算額	B	3,300
H23現計予算額		3,300
増減額	A－B	1,680

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		2,529
従事職員数【人工】		0.05
人件費（人工×8,000千円）		400
総事業費：人件費含む（千円）		2,929
活動指標名	入所人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	44 単位 人
単位当たりコスト　（円）		66,568

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金　4,980千円

事業の目標	施設の適切な運営のため、新たな職員を雇用し、施設に育つ子ども達の健やかな成長を助ける児童養護施設を支援する。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト （12）児童養護施設支援事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い品贈呈事業

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)
事業の目的	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い品を支給する。	

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要	・出産祝い品贈呈　950千円 190人×5,000円＝950,000円 5,000円分の図書カードを配布
事業の成果	・出産祝い品の配布 21年度決算 188件分　940千円 22年度決算 160件分　800千円 23年度予算 190件　950千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		950
H24予算額	A	950
H23当初予算額	B	950
H23現計予算額		950
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	800			900		
従事職員数【人工】	0.60			0.60		
人件費(人工×8,000千円)	4,800			4,800		
総事業費:人件費含む(千円)	5,600			5,700		
活動指標名	出産祝い贈呈件数					
活動指標の算式						
活動指標の実績	160.0	単位	件	180	単位	件
単位当たりコスト　(円)	35,000			31,667		

特定財源の状況

事業の目標	新生児の誕生を祝い、育児の一助となるよう図書カードを贈呈する。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト 【その他の子育て支援予算】

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どものための手当

所管課	子ども支援課（福祉課）	（健康福祉部）

事業の目的

次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて支給する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	2	児童措置費
細目	1	本庁児童措置費

根拠条例等	子どものための手当支給に関する法律
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度 事業の概要

子どものための手当・・・3歳未満　月額15,000円
3歳以上～小学校修了前（第1子・第2子）月額10,000円
3歳以上～小学校修了前（第3子以降）月額15,000円
中学生修了前　月額10,000円

・平成24年6月分より所得制限
・平成24年度予算　422,460千円

事業の成果

	平成22年度決算	平成23年度予算
子ども手当	408,811千円	528,024千円

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	
使用料	
国　費	316,716
県　費	52,872
市　債	
その他	
一般財源	52,872
H24予算額	A　422,460
H23当初予算額	B　528,024
H23現計予算額	528,024
増減額	A－B　▲ 105,564

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	408,811	465,524
従事職員数【人工】	1.20	1.20
人件費（人工×8,000千円）	9,600	9,600
総事業費：人件費含む（千円）	418,411	475,124
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	3,059.0 単位 人	3,115 単位 人
単位当たりコスト　（円）	136,780	152,528

特定財源の状況

子どものための手当負担金
国庫　316,716千円
県費　52,872千円

事業の目標

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体でで応援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
【その他の子育て支援予算】

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	保育所等芝生化促進モデル事業（室生こども園）

所管課	子ども支援課（学校教育課）	（健康福祉部）

事業の目的	室生こども園庭を芝生化のモデル園として整備し、園庭を活用した子育て支援活動の展開、保護者同士のコミュニティーの活性化を図り、地域における子育て力の強化や園児の運動能力の向上を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第5節 「子育て支援が充実したまち」（保育サービスの充実）

H24年度事業の概要

実施場所‥室生こども園　　芝生化面積‥800㎡
事業工程‥5月　スプリンクラー等整備工事
　　6月　ポット苗植え付け（児童・PTA）

科目名等		積算内容	
報償費	技術指導員報酬	100,000	（@10000円×3人×2回・4人×1回）
需用費	消耗品費	30,000	事務費
工事請負費		1,150,000	スプリンクラー等設置工事
原材料費		158,000	芝苗・肥料代等
備品購入費		162,000	芝刈り機等備品購入
合計		1,600,000	

事業の成果

ポット苗方式によりこども園の園庭において低コスト芝生化を推進し、芝生を活用した日常保育やイベント等の開催により、地域や保護者同士の交流の活性化と園児の運動能力の向上、豊かな人間性をもった子どもの成長を育む。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		1,500
市　債		
その他		
一般財源		100
H24予算額	A	1,600
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,600

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

県補助金10／10(上限150万円)
保育所等芝生化促進モデル事業補助金
1,500千円

事業の目標

園児の運動能力の向上、人間性豊かなこどもを育むことを目標とする。また、地域や保護者の交流の場として活用することにり、地域の活性化を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
（11）室生子ども園運動場の芝生化

平成24年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域子育て支援拠点事業

所管課	子ども支援課（学校教育課）	（健康福祉部）

事業の目的	乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としている。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
細目	3	本庁子育て支援センター費

根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則
総合計画	第2章 第5節（2） 子育て支援の充実

H24年度事業の概要	毎月テーマを決めて、室内でふれあい遊び・リズム遊び・製作活動・絵本の読み聞かせ等をおこない楽しく交流する。親子教室（0歳児・1歳児・2歳児）を行う。1年間登録制・子育てに必要な情報や知識を教えてもらい、相談に応じてもらう。（保健師、歯科衛生士、栄養士、お話会、民生児童委員等）親子教室の出身者や子育てを終えた地域の方々を募り、子育てボランティアとして関わってもらい、一緒に遊んだり子育ての経験談を話してもらい、育児のヒントにしてもらう。
事業の成果	・昨年度まで地域によってサービスに偏りがみられたが、今年度より、子育て支援センターとして市で一本化となり、公平なサービスが可能となった。 ・親子教室（0，1，2歳児）では、8クラス140組の登録者。毎週水曜日に各地区を回る出前保育（つどいのひろば）では、1ヶ月平均約33名。すこやかルーム開放では、1ヶ月平均200名の利用者があった。サークルも5組と毎月活発に活動している。 ・各幼稚園の未就園児交流会にも参加し、スムーズに入園ができるように支援している。また、療育教室とも連携を取りやすくなり、保護者からのニーズに応えやすくなった。 ・子育て講演会の開催、子育て相談も気軽にできるよになり、福祉課、保健センターや学校教育課とも連携会議を通してつながりやすくなった。 ・子育てボランティア（現在登録者17名）の充実が図れた。

財源の内訳 （単位：千円）

分担金		
使用料		
国 費		3,700
県 費		
市 債		
その他		112
一般財源		301
H24予算額	A	4,113
H23当初予算額	B	2,125
H23現計予算額		2,030
増減額	A－B	1,988

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		2,030
従事職員数【人工】		4.4
人件費（人工×8,000千円）		35,200
総事業費：人件費含む（千円）		37,230
活動指標名	延べ参加親子数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	6,533 単位 人
単位当たりコスト （円）		5,699

特定財源の状況

国：次世代育成支援対策交付金 3,700

諸収入：サークル等登録料 112

事業の目標	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト (8) 子育て支援センター「すくすく」の充実

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的	ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。 宇陀市では扶養義務者の所得制限を撤廃し、県助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	6	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費

根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞　保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円（月2週間以上の入院の場合は、1，000円）を控除した額を助成する。ただし、対象者が中学校卒業までの者に対しては、入院医療費の自己負担額（食事負担を除く）を全額助成する。
＜助成方法＞　助成対象者が県内医療機関で受診した場合は、国保連合会から提供された診療情報に基づき、自動的に指定の口座に振り込む。県外医療機関での受診の場合や自動償還を取り扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書をもって申請してもらう。

事業の成果

区分		21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
母子	受給者数（年度末現在）	91人	101人	104人
	助成件数	688件	794件	790件
	助成額	2,101,914円	2,020,849円	2,511,836円
父子※	受給者数（年度末現在）	－	－	5人
	助成件数	－	－	10件
	助成額	－	－	54,000円
助成額合計		21,021,914円	2,020,849円	2,565,836円

※父子に対する医療費助成は、平成23年8月診療分から。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,267
一般財源		2,189
H24予算額	A	3,456
H23当初予算額	B	2,011
H23現計予算額		2,011
増減額	A－B	1,445

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,021	2,566
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,621	4,166
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	101 単位 人	109 単位 人
単位当たりコスト　（円）	35,851	38,220

特定財源の状況

福祉医療費助成制度高額療養費収入（諸収入）
1，267千円

事業の目標

近年の家庭を取り巻く環境の多様化に伴い、ひとり親家庭が増加している。一般的に経済的基盤の脆弱なひとり親家庭に対して、病気になったときに安心して病院にかかれるよう医療費の助成を行い、経済的な負担の軽減を図ることで、医療費支払い困難による治療の遅れから病気の重症化を防ぐことを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(3) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃